

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら刑部教室		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 10日 ～ 2025年 11月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 57
○従業者評価実施期間	2025年 10月 10日 ～ 2025年 11月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日小集団でのプログラムを実施している	偏った内容にならないよう5領域に沿った内容でねらいを明確にする	マンネリ化しないよう様々な情報を収集
2	保健センター等の行政機関やこども園等と連携し支援の方向性を共有	事前に保護者の了解を得て詳細な情報共有ができるよう工夫	契約時のみではなく必要に応じて協議を行う機会を増やす
3	児発管をはじめベテランの職員がいるので保護者からの信頼は厚い	モニタリングだけでなく日常的に送迎時などに話を伺うように留意している	経験の浅い職員の質を向上させる取り組みを実施

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会などの機会がなかなか持てない	共働きの家庭が多いことと特に放デイの利用者は利用期間の長い方が多く、保護者会を企画してもなかなか参加いただけないことが多い	一度の多くの保護者を集めるのではなく複数の日程で実施したり親子でのプログラムを増やす等の取り組みを検討する
2	地域の行事への参画や近隣のこども園等との交流の機会がない	地域で交流できるような行事自体がなかなかないことと近隣の園との交流の機会もほとんどないのが現状	商店街の会合に出席したり、広報誌などの情報をさらに探るように取り組む
3	研修としてのペアレントトレーニングが実施できていない	個々の保護者からは日々様々な相談が持ちかけられ、その都度個別に対応しているが、研修として体系立てて実施するようなノウハウがない	相談内容も家庭により千差万別なので研修として実施するより個別に対応するほうが望ましいと思われる